

佐野市景況レポート

平成30年4～6月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

仕入価格の高止まりと僅かな販売価格転嫁

【平成30年4～6月期 実績】

全業種業況DI指数は▲16.3、前期（3月期）比▲1.8ポイントの業況悪化となりました。利益DI指数は▲26.8（前期比▲3.7）、売上高DI指数は▲13.1（前期比▲1.0）と、利益、売上高のポイント低下が業況悪化に繋がりました。また、製品・商品在庫DI指数は+3.4（前期比+4.9）と前期の在庫不足が解消されました。原材料・仕入価格全業種DI指数は+29.0（前期比▲5.9）、商品販売価格全業種DI指数は+1.4（前期比+3.9）と仕入価格の高止まりと僅かな販売価格への転嫁が見られます。

【平成30年7～9月期 見通し】

全業種業況DI指数は▲12.8（前期比+4.7）と、今後3か月間の業況改善を予想しています。売上高DI指数は▲11.9（前期比+3.1）、仕入価格DI指数は+25.2（前期▲4.1）、販売価格DI指数は+1.9（前期比+1.4）です。平成30年7～9月期の見通しは、業況・売上の改善と僅かな価格転嫁が進むと予想しています。

【事業所等の景況コメント】

景況に関するコメントには、前期同様「人材不足・採用難」、「原材料・仕入価格の上昇」が多く挙げられました。その中で、「人材不足・採用難」が益々厳しくなる見通しを持ち、AI・IoTに力を入れるべく情報収集されている事業所のコメントがありました。某コンビニエンスストアは44年前に誕生し、2万店舗を擁する生活インフラを築き上げました。それは、自社の業態を「変化対応業」と定義し、社会・消費者の変化に的確に対応した証です。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（平成30年4～6月期）		見通し（平成30年7～9月期）	
業 況	▲16.3		▲12.8	
売 上 高	▲13.1		▲11.9	
販 売 価 格	1.4		1.9	
仕 入 価 格	29.0		25.2	
労 働 力	▲27.5		—	—

*天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格はDI値
をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

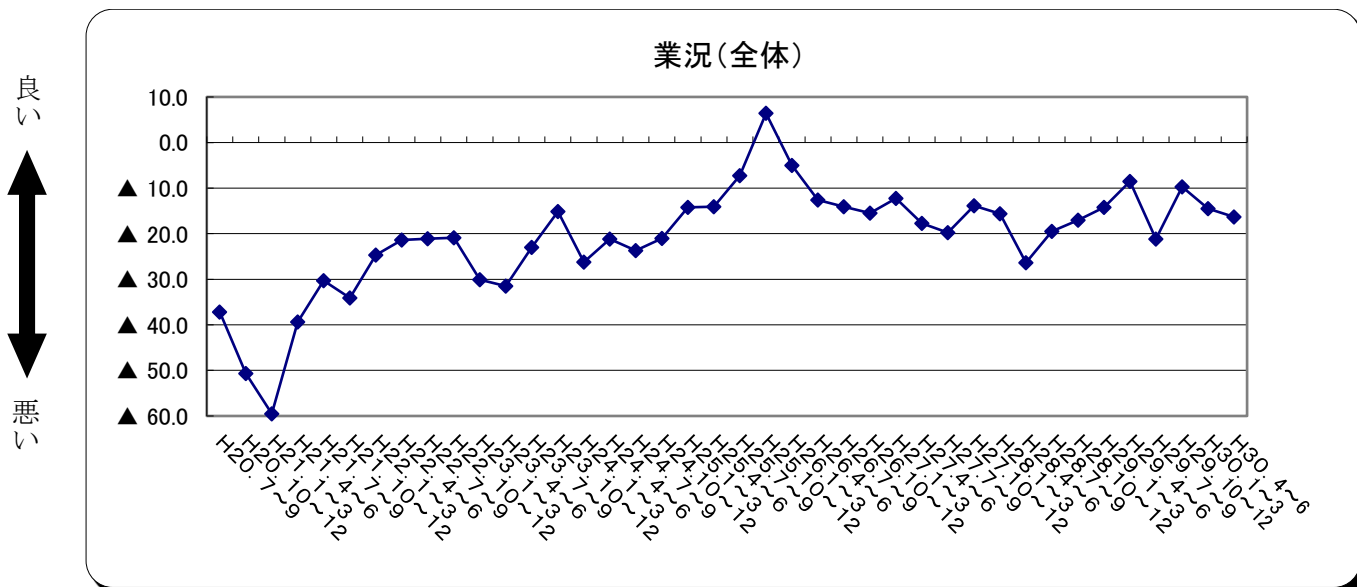
調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（平成 30 年 4～6 月期実績）

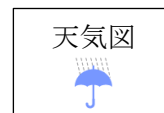


全業種 DI 指数▲16.3、前期比 1.8 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①建設業及び設備業、その他の製造業、卸売業 0.0 ポイント、⑤サービス業▲4.9 ポイント

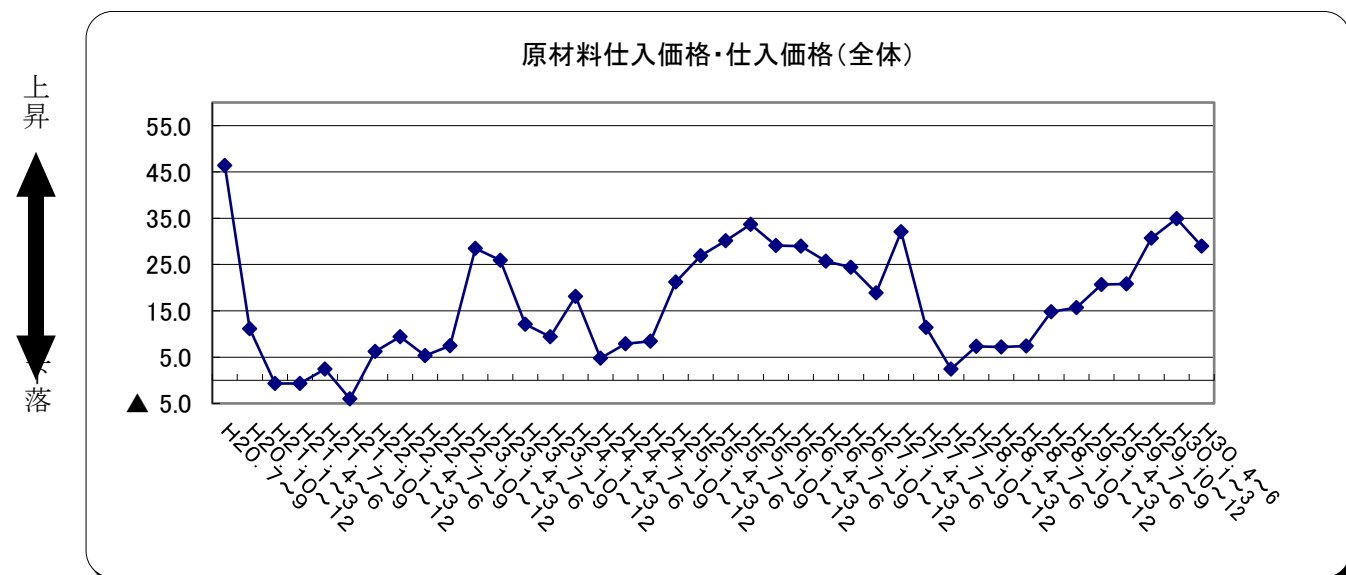


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 30 年 4～6 月期実績）



全業種 DI 指数 29.0、前期比 5.9 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①小売業(飲・食料品)78.9 ポイント、②繊維品製造業 42.9 ポイント、③サービス業 36.8 ポイント、④機械・金属製造業 36.6 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 31.3 ポイント



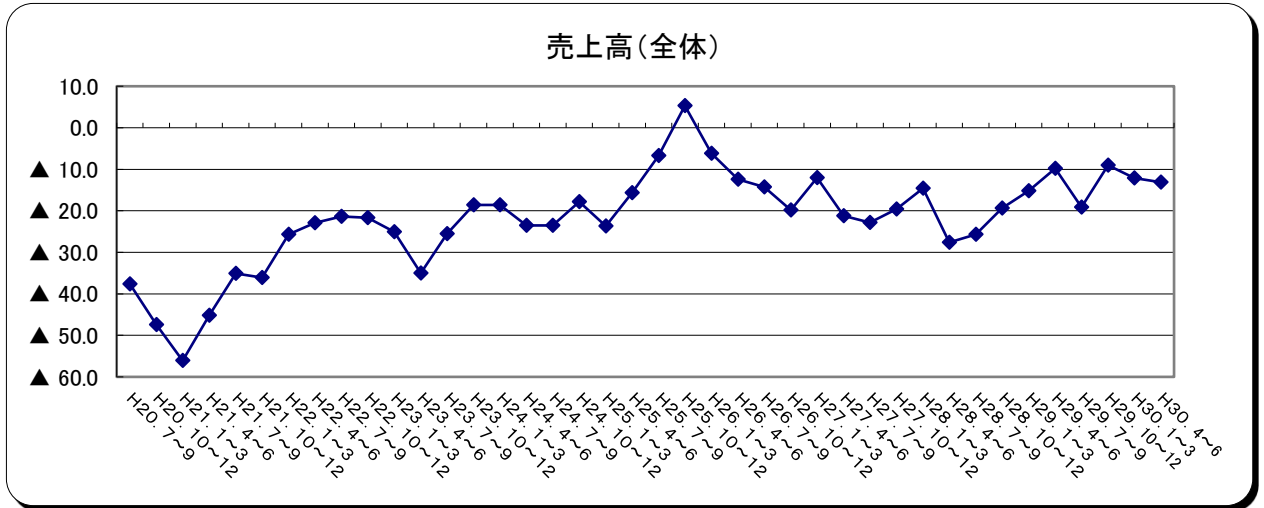
☆ 売上高について（平成 30 年 4～6 月期実績）



全業種 DI 指数▲13.1、前期比 1.0 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 12.0 ポイント、②サービス業 5.3 ポイント、③機械・金属製造業 3.8 ポイント、④建設業及び化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント

増加
↑
減少
↓



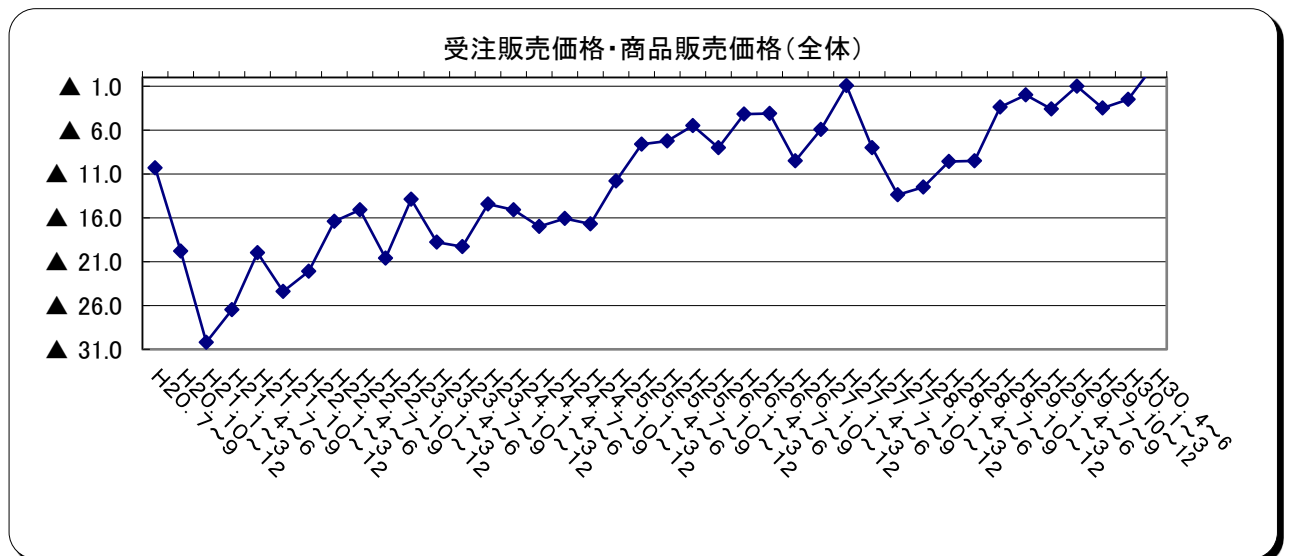
☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 30 年 4～6 月期実績）



全業種 DI 指数 1.4、前期比 3.9 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品） 27.3 ポイント、②その他の製造業 13.0 ポイント、③卸売業 11.1 ポイント④サービス業 4.9 ポイント、⑤設備業及び食品製造業、化学・プラスチック製造業、その他の小売業（大型店含む）、飲食店 0.0 ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成30年4～6月期実績）

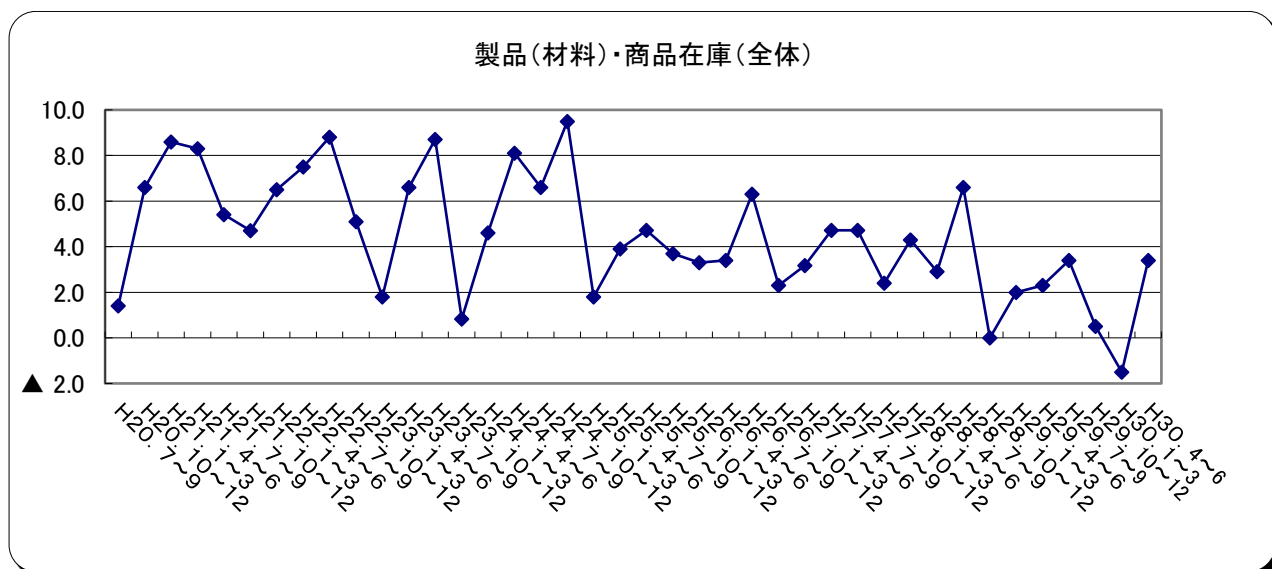


全業種 DI 指数 3.4、前期比 4.9 ポイント上昇

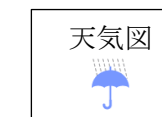
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラスチック製造業 17.1 ポイント、②繊維品製造業 16.7 ポイント、③機械・金属製造業 14.0 ポイント、④小売業（飲・食料品）6.4 ポイント、⑤建設業及び設備業、食品製造業、その他の製造業、卸売業、その他の小売業（大型店含む）0.0 ポイント

過大
↑
↓
不足



☆ 利益状況について（平成30年4～6月期実績）

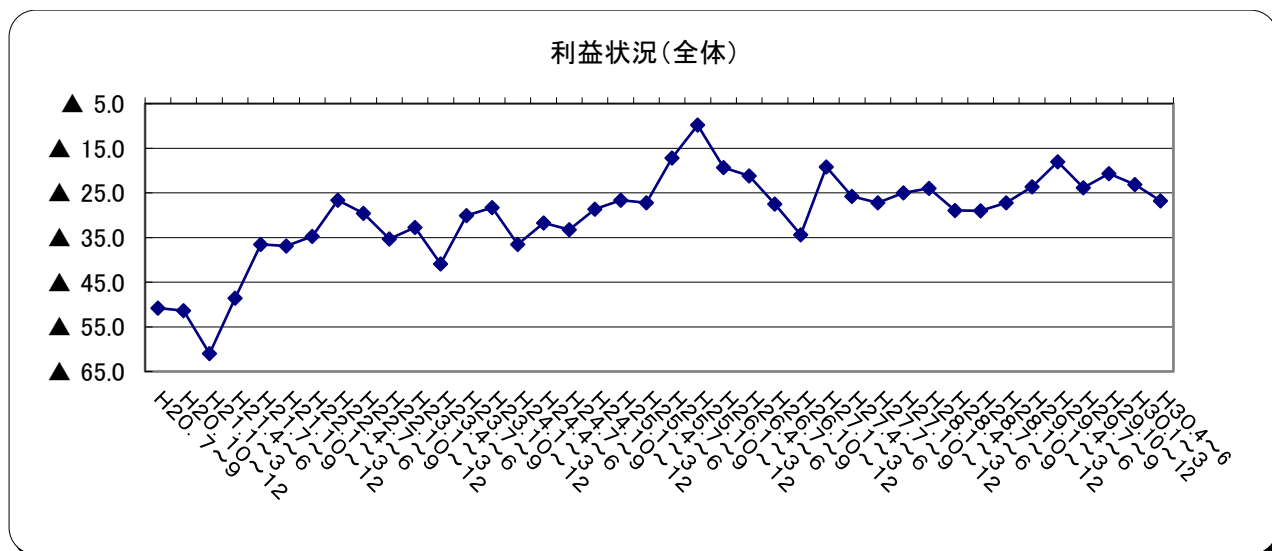


全業種 DI 指数 ▲26.8、前期比 3.7 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業及び卸売業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業 ▲13.8 ポイント、④設備業 ▲15.8 ポイント、⑤機械・金属製造業 ▲22.0 ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 資金繰りについて（平成 30 年 4～6 月期実績）

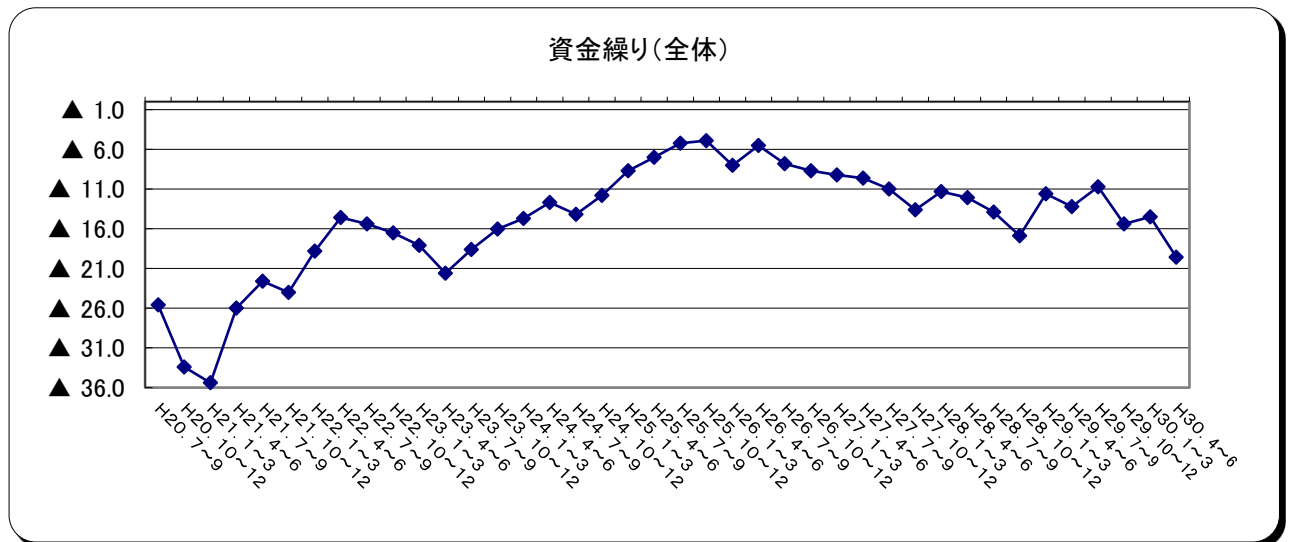


全業種 DI 指数▲19.6、前期比 5.1 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 11.1 ポイント、②建設業 9.1 ポイント、③食品製造業▲4.6 ポイント、④小売業（飲・食料品）▲6.4 ポイント、⑤機械・金属製造業▲7.0 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について（平成 30 年 4～6 月期実績）

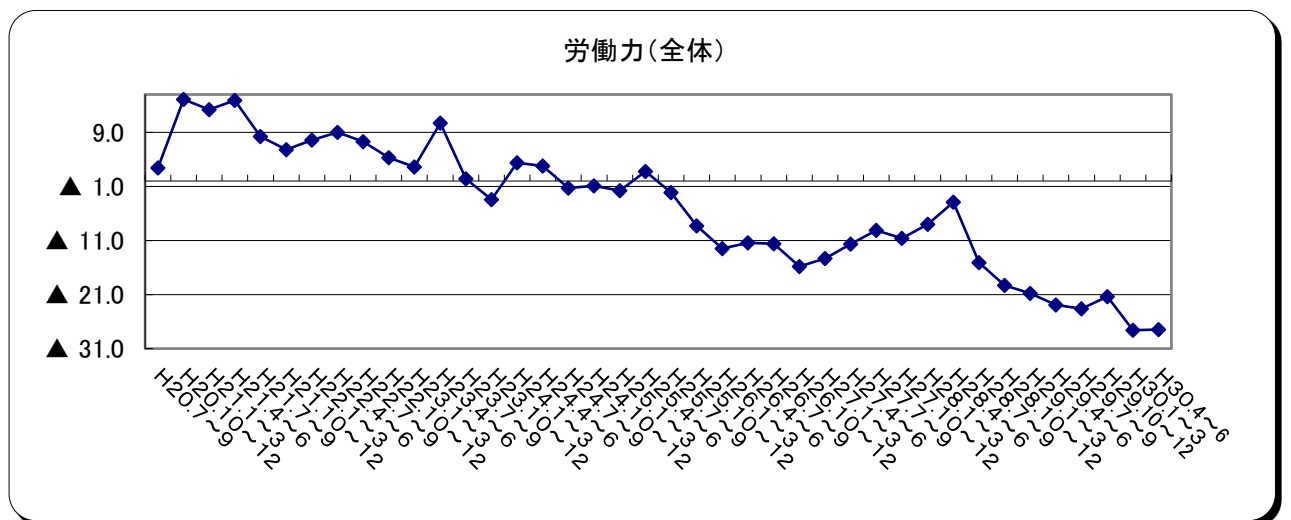


全業種 DI 指数▲27.5、前期比 0.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 0.0 ポイント、②繊維品製造業▲8.1 ポイント、③機械・金属製造業▲18.1 ポイント、④サービス業▲20.0 ポイント、⑤飲食店▲23.8 ポイント

過剰
↑
↓
不足



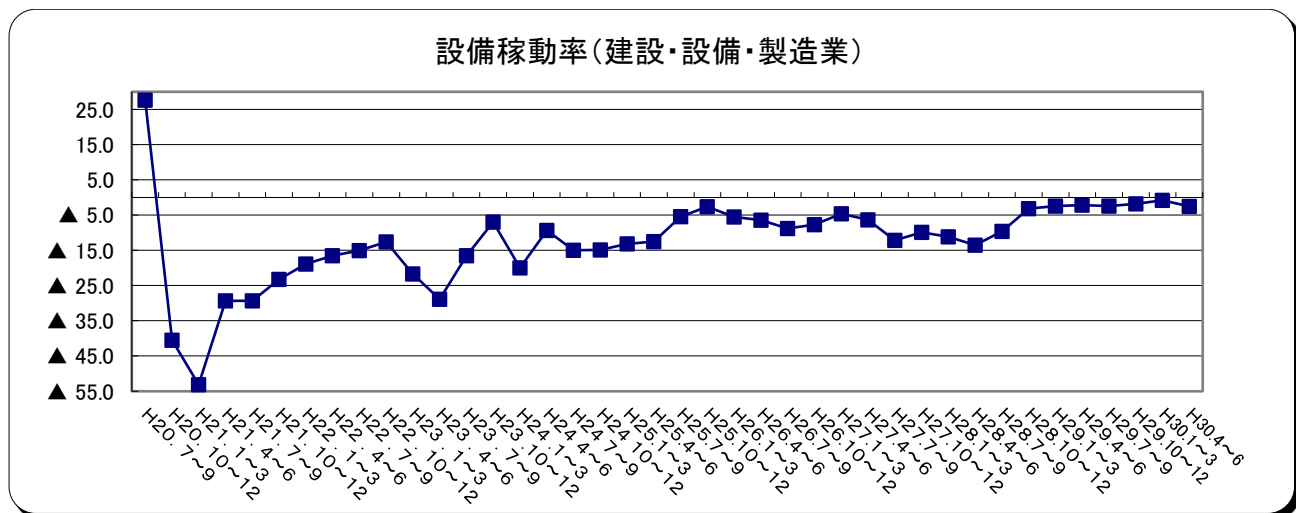
☆ 設備稼働率について（平成 30 年 4～6 月期実績）
（建設・設備・製造業関係）



全業種 DI 指数 ▲2.5、前期比 1.7 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業 8.6 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業 ▲4.3 ポイント、④機械・金属製造業 ▲7.0 ポイント、⑤設備業 ▲7.3 ポイント

高い
↑
↓
低い



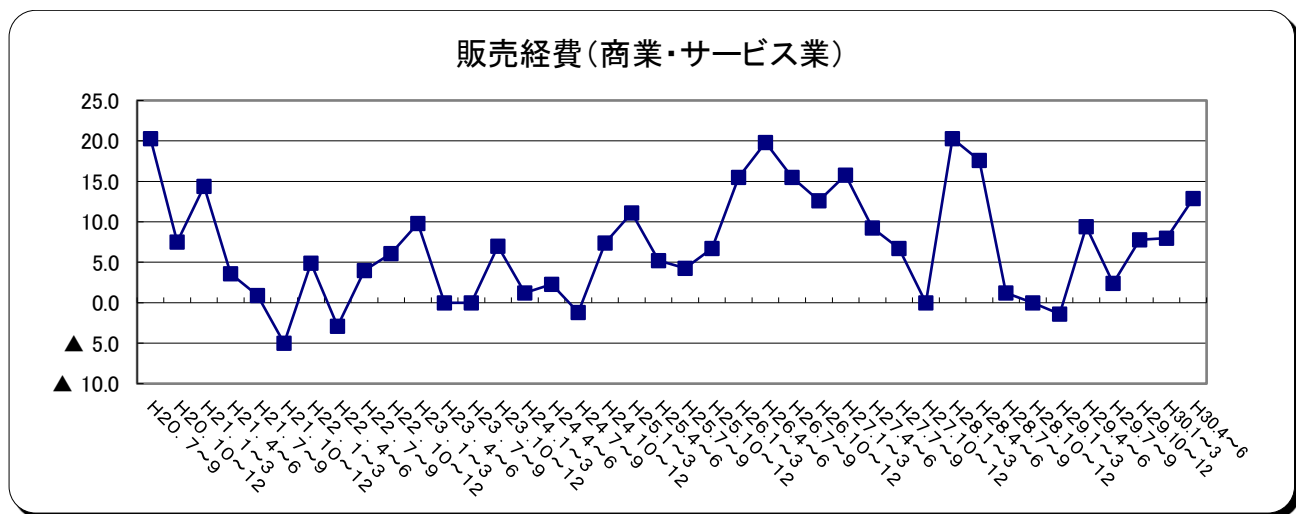
☆ 販売経費について（平成 30 年 4～6 月期実績）
（商業・サービス業関係）



全業種 DI 指数 12.9、前期 4.9 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品）42.9 ポイント、②卸売業 23.1 ポイント、③サービス業 20.0 ポイント、④その他の小売業（大型店含む）4.9 ポイント、⑤飲食店 ▲9.1 ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 今後3ヶ月先（平成30年7～9月期の見通し）の業況について

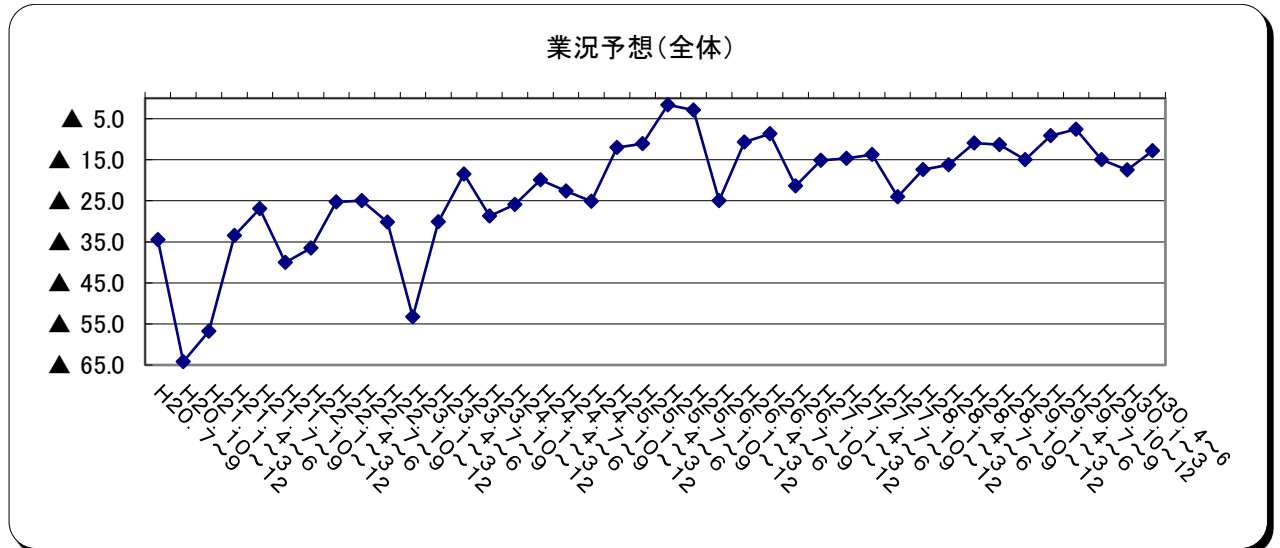
天気図



全業種DI指数▲12.8、前期比4.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 10.8ポイント、②化学・プラスチック製造業 4.3ポイント、③その他の製造業 0.0ポイント、④飲食店▲10.0ポイント、⑤卸売業▲11.1ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成30年7～9月期の見通し）の売上高について

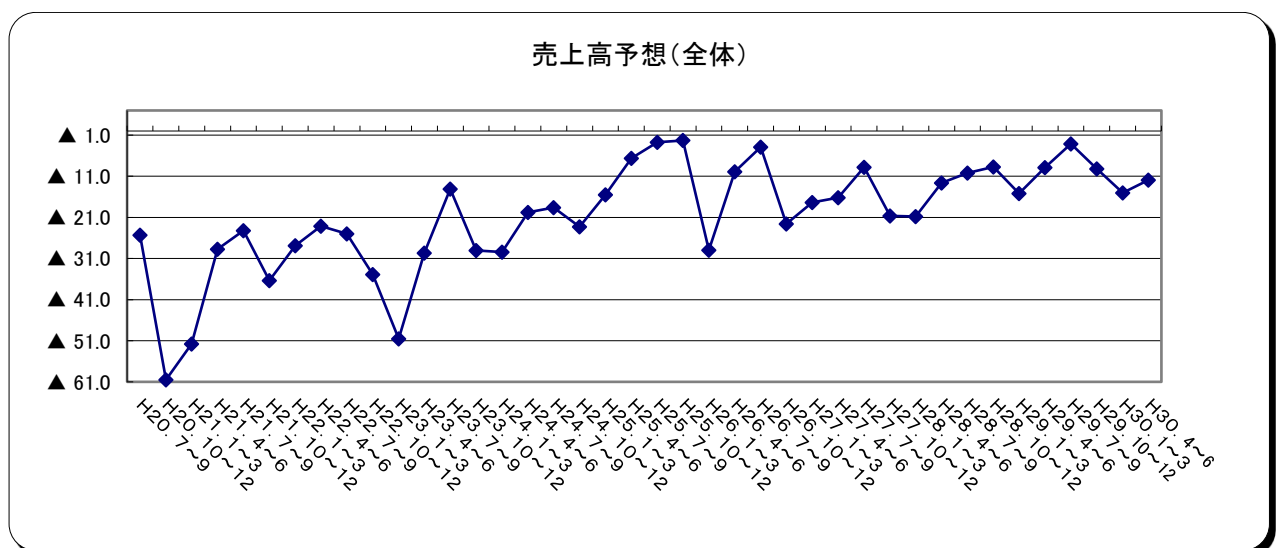
天気図



全業種DI指数▲11.9、前期比3.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 22.5ポイント、②化学・プラスチック製造業 8.8ポイント、③その他の製造業及び飲食店 0.0ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲14.3ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成30年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

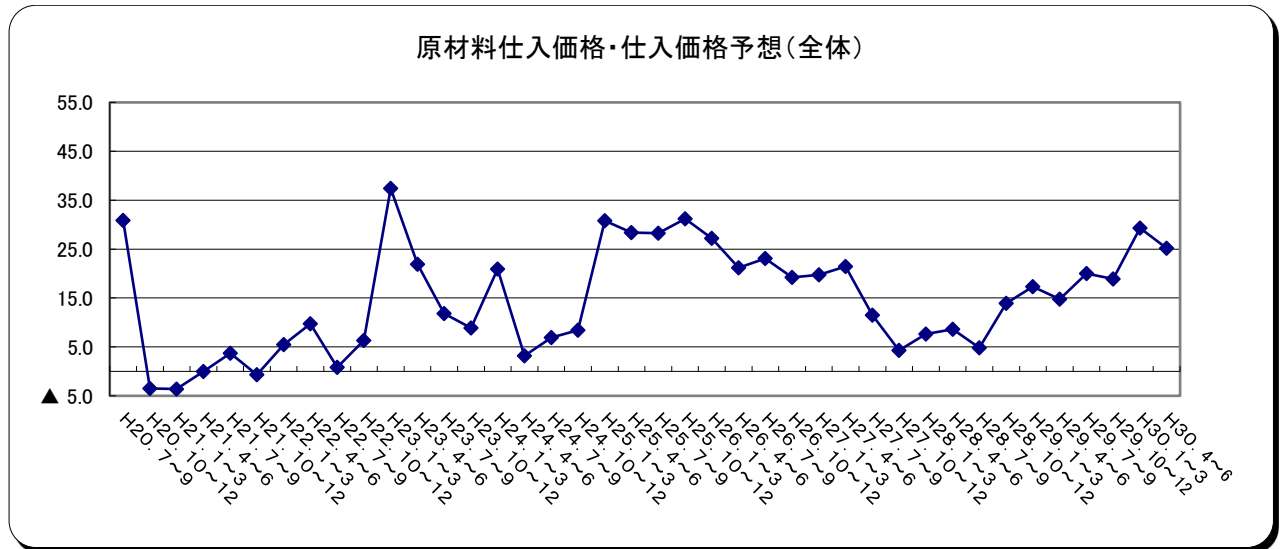
天気図



全業種DI指数 25.2、前期比 4.1ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）60.0ポイント、②繊維品製造業 52.9ポイント、③機械・金属製造業 32.5ポイント、④化学・プラスチック製造業 31.3ポイント、⑤建設業 27.3ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（平成30年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

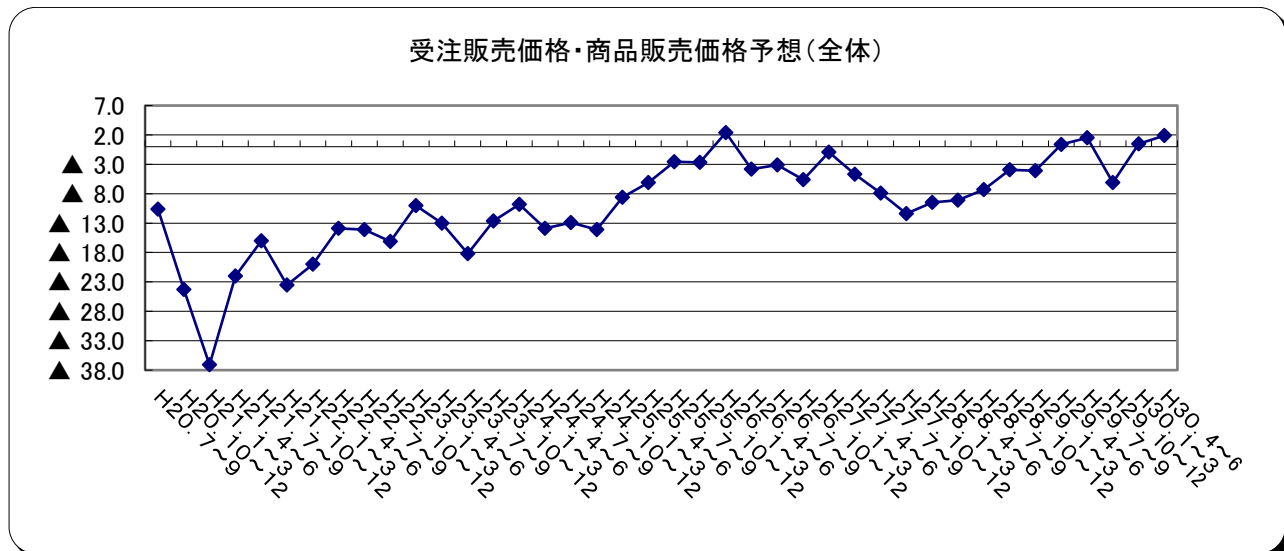
天気図



全業種DI指数 1.9、前期比 1.4ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 27.3ポイント、②小売業（飲・食料品）20.0ポイント、③その他の小売業（大型店含む）9.4ポイント、④サービス業 4.9ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 4.1ポイント

上昇
↓
下落



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・求人募集をしても集まらない。

設備工事業

- ・人材不足。

繊維品製造業

- ・オリンピックに関する需要の波はまだ来ていない様子です。
- ・これから仕入価格上昇により、資金繰りが大変になりそうです。

食品製造業

- ・なかなか厳しい時を迎えております。パートさんを募集してもすぐに辞めてしまうし、しっかりと計画をたてていかなければならないです。
- ・7月8月については、天気しだい。
- ・政府は来年本気で消費税上げるのでしょうか？消費税上げて景気が悪くなったらどうするのでしょうか？
- ・原油価格が高止まったままなのが不安要因です。
- ・景気の低迷感はない。自社開発力、商品力また技術力に関わるところの影響が大きい。如何に差別化されたニーズに合ったものを市場へ出せるかにかかっています。
- ・個人的には市内の求職者は皆無なのに、時給さえあげればまだ集まると甘く考えている人もまだまだ多いように感じる。外国人労働者採用も先が見えており、本腰を入れて、AI/IoT に力を入れなければと思い、情報集めの毎日が続いている。

機械・金属製品製造業

- ・零細企業にとって働き方改革は無理だと思います。
- ・2年位、仕入価格の上げ基調が続いている。これに対して売値への転嫁率が70%で横這っており、採算の悪化が進んでいる。
- ・材料の高騰が大きく影響しています。
- ・ここ数ヶ月同じ状況で推移している。仕入コストUP分の販売価格への転嫁が進んでいない。新規取引先の開拓も必要となってきている。

化学・プラスチック製品製造業

- ・引合減少、同時期重なり物件多い。断らずを得ないので客先へのイメージダウン⇔無理すると労働者気力、体力ダウン→減益で難しい。
- ・原材料の値上げが続いている状況。販売価格への転嫁を急ぐ。
- ・プラスチック原料上昇傾向。

その他製造業

- ・5月連休以降は、毎年の事ではあるが受注は減少する。9月頃からは、新しい事業展開があるのでそれを成功させたい。

卸売業

- ・地方が低迷している。

小売業（飲・食料品）

- ・殿町通りの人通りの減少がひどく、景気も良くない。町中の活性化をなんとかしなくては戸閉めの店が増えるばかりです。
- ・原材料の値上げ、運賃の値上げが続いている。当社も値上げを考えねばならない時機にきている。
- ・相変わらず景気は良くありません。
- ・例年暑い夏は売上が減少するので、苦しい時期です。4月から6月も暑い日が多かったので売上に影響しました。

その他の小売業（大型店含む）

- ・東京はオリンピック建築ブーム、宇都宮も国体、総合グラウンド建設、LRTの着工が開始されたが、地方へはまだまだの感。
- ・ドラッグストアの開店による食品の競争激化のトレンド変わらず。
- ・全々普通です。
- ・増々のどんぞこ状態です。
- ・消費人口の減少。

飲食店

- ・なかなか大変です。
- ・特に何も感じておりません。
- ・仕入価格は上げ止る気配です。
- ・売上げは少しずつではありますが、上向いています。
- ・前期は気持ち良くなったかなと思った景気も又元に戻ったような気がする。

サービス業

- ・市内土地の販売価格が低い価格で推移しており、土地単体での販売が難しい。住宅の販売等付加価値が必要と感じる。
- ・仕事量が多いが、労働力が確保出来ない為、仕事がこなせていない。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成30年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、194社（回答率66.8%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（DI）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

DI方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問い合わせ 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所